

事前評価個表

整理番号	37
------	----

地域（地区）名	<small>ちゅうえつ</small> 中越地域	事業名	森林環境保全整備事業
計画策定主体	新潟県	対象市町村	新潟市ほか16市町村
事業実施期間	H23 ~ H27（5年間）	事業実施主体	市、森林組合等

事業の概要・目的	<p>計画区域である中越地域は、新潟県の中央部に位置した信濃川沿いの総面積574,596haの一带です。このうち森林面積は344,718ha（うち民有林239,373ha）あり、林野率は60.0%となっています。</p> <p>森林は、新潟市以西の海岸線に沿って分布する砂丘森林、各河川の中・下流域の里山林とその上流域の国有林を含む奥地森林に大別されます。国有林は、主に県境地域に広がっている。民有林の資源内容については、人工林が56,874ha、人工林率が23.8%（新潟県平均24.8%）となっています。人工林のほとんどはスギとなっており、山間部にアカマツがわずかに存在し、クロマツが海岸線に分布している。これら人工林の約7割が、4～12齢級以下（16～60年生）であり、保育の適期にある。</p> <p>こうした人工林に対し、集約化に基づく施業の効率化、低コスト化とこれによる間伐材の搬出利用を一層進め、採算性を向上させながら間伐を推進する。 あわせて、植栽及びその後の下刈等の初期保育を着実に実施し、地域の森林整備を推進する。</p>
事業内容・事業費	<p>森林整備：4,974ha 人工造林、下刈り、雪起こし、枝打ち、除伐、間伐等</p> <p>総事業費：1,245,314千円</p>
費用対効果分析結果	<p>B/C = 7.64 (総便益(B) = 22,132,347千円、総費用(C) = 2,896,314千円)</p>
評価結果	<p>必要性：保育対象林分の現状からみて必要性が高い。</p> <p>効率性：投下する費用を上回る効果が見込まれることから、事業の効率性が認められる。</p> <p>有効性：健全な森林づくり等によって水源涵養、土砂流出防止等の森林の有する多面的機能の発揮に有効である。</p> <p>森林は多様な機能を有しているが、これらの機能は一度失うと回復に長期間を有することから、適時適切な施業を計画的に実施することが不可欠である。 本計画は、地域において必要な森林整備を計画しており、効率性、有効性も認められる。 このため、森林環境保全整備事業計画として実施することが適当である。</p>

便 益 集 計 表

(森林整備事業)

事業名: 森林環境保全整備事業
 地域名: 中越

新潟県
 (単位: 千円)

大 区 分	中 区 分	評 価 額	備 考
水源かん養便益	洪水防止便益	4,444,055	
	流域貯水便益	3,042,634	
	水質浄化便益	5,194,371	
山地保全便益	土砂流出防止便益	6,244,031	
	土砂崩壊防止便益	79,779	
環境保全便益	炭素固定便益	1,995,061	
木材生産便益	木材生産確保・増進便益	1,132,415	
総 便 益 (B)		22,132,347	
総 費 用 (C)		2,896,314	
費用便益比	$B \div C = \frac{22,132,347}{2,896,314} = 7.64$		

森林環境保全整備事業 中越地域(新潟県) 概要図

